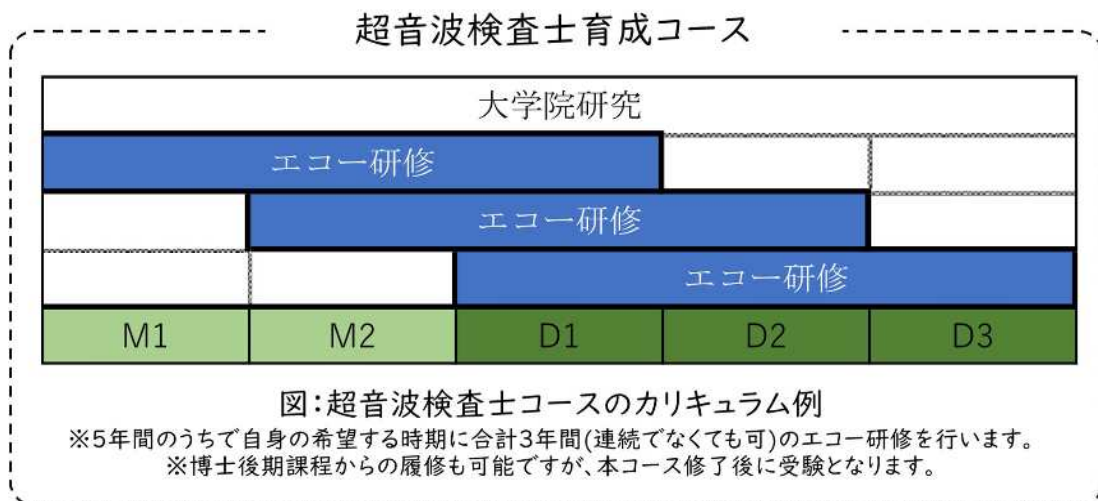


超音波検査士育成コース

近年、超音波検査においても、「エコー測定の精度管理」が問われる時代となり、各検査技師の技術水準の向上が重要視されています。将来、AIによる検査の自動化が進む一方で、エコー検査においては、これからも熟練した技術が必要とされます。

超音波検査士の取得には、症例報告と3年間の正会員歴が必要です。本コースでは、博士前期課程(2年間)、博士後期課程(3年間)の一貫制を導入することで、高度な研究技能と臨床技能を併せ持った次世代の担い手となる検査技師を育成します。

コース選択者は、「博士学位の取得」と共に、「超音波検査士」の取得を目指します。



*エコー研修期間については、症例経験と技術の習得が得られたと担当教員が判断した場合は期間の短縮が可能です。

履修方法:以下の科目を必修とします。

「超音波画像計測学実習 I~V」

「超音波画像計測学特論」

「超音波画像計測学演習」

超音波検査士育成コースカリキュラムマップ

